

# その学びが むすびわざ

Keep Innovating.

テーマ⑥

さあ、どうする?  
グローバル化の波は、法廷にも押し寄せてきた。

## 司法外国語プログラム(中国語)

国際化が進む日本では、外国人の関わる犯罪の増加にともない、司法通訳が必要となるケースが増えています。言語だけでなく文化や法律も異なる国で捜査・裁判に関わる外国人にとって、捜査・裁判関係者とのやりとりはとても不安なもの。司法通訳はその両者のコミュニケーションを円滑にし、適正な捜査・裁判が行われることをサポートするという重要な役割を担います。学部の壁に囚われないフレキシブルなカリキュラムを

展開する京都産業大学は、法学部・法務研究科と外国語学部が共同で司法通訳人や外国人に通じる警察官を養成する「司法外国語プログラム(中国語)」を設置。他大学の大学院や通訳スクールにすでに置かれている司法通訳人養成コースと異なり、模擬取り調べや模擬裁判で司法通訳を「実践する」授業を組み込んでいるのが特徴で、捜査や裁判のあらゆる場面に対応できる通訳技術と、高い職業倫理を身につけます。

**K50<sup>th</sup>** 京都産業大学  
2015年、50周年を迎えます

- 経済学部 ● 経営学部 ● 法学部 ● 外国語学部 ● 文化学部
  - 理学部 ● コンピュータ理工学部 ● 総合生命科学部
- 【入学センター】 〒603-8555 京都市北区上賀茂本山 TEL 075-705-1437